

奈良俣ダム

OKUTONE

概要

奈良俣ダムは、利根川支川櫛俣川に建設された多目的ダムで、高さ158mのロックフィルダムです。昭和49年4月に実施計画調査に着手後、昭和56年1月に工事を開始し、厳しい気象条件を克服しつつ、平成3年に完成しました。また、櫛俣川に隣接した湯ノ小屋沢川の水をダム貯水池に導くために、取水堰と導水トンネルを設けています。

ダムの目的

洪水調節

洪水期(7月1日から9月30日)において、ダムサイトにおける計画高水流量毎秒370m³のうち毎秒360m³を調節して、利根川上流の他のダム群とともに、下流の流量を低減させます。

流水の正常な機能の維持

利根川上流ダム群とともに、利根川沿岸の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

新規利水

●農業用水

千葉県東総用水地区の農地に対するかんがい用水として、夏期かんがい期(4月26日から9月30日)において平均毎秒0.69m³、冬期かんがい期(10月1日から4月25日)において平均毎秒0.08m³のかんがい用水を供給します。

●都市用水

下流都県の水道用水として最大毎秒8.045m³の取水を、また、群馬県の工業用水として最大毎秒0.65m³の取水をそれぞれ確保するよう放流します。

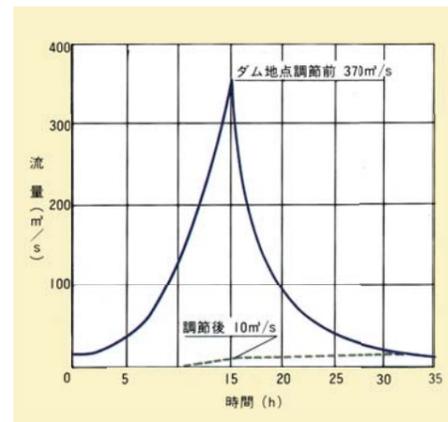
●発電

群馬県奈良俣発電所により、最大毎秒11m³の水量を利用して、最大出力12,800キロワットの発電を行います。

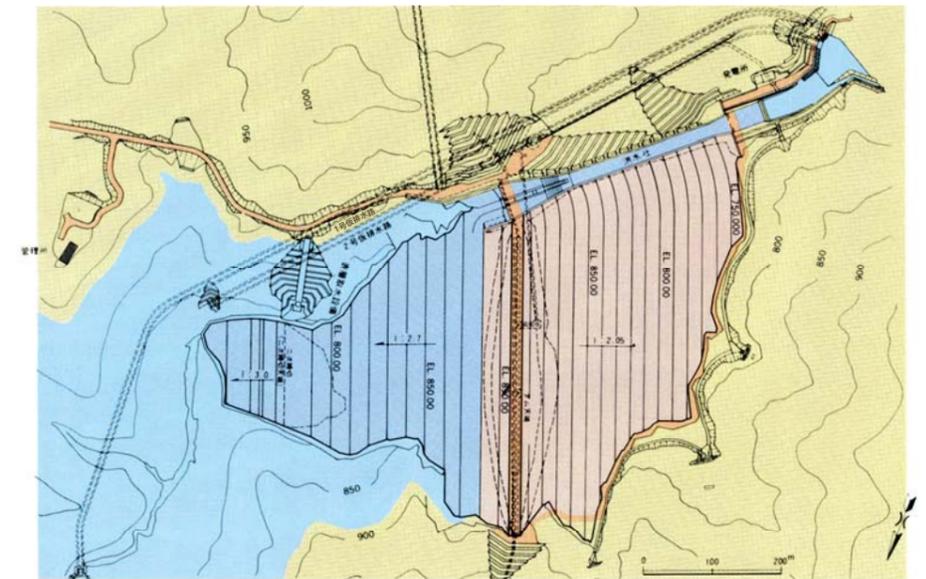
都県別用水供給表 (単位: m³/s)

都県名	農業用水(平均)	水道用水(最大)	工業用水(最大)	合計
群馬県		2.435	0.65	3.085
茨城県		0.179		0.179
埼玉県		0.951		0.951
千葉県	0.69	2.41		3.10
東京都		2.07		2.07
合計	0.69	8.045	0.65	9.385

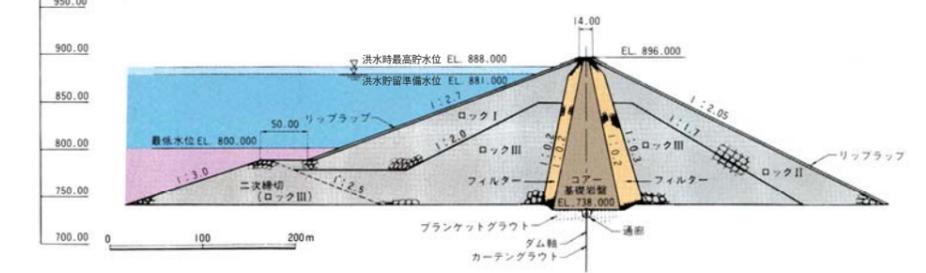
洪水調節図



ダム平面図



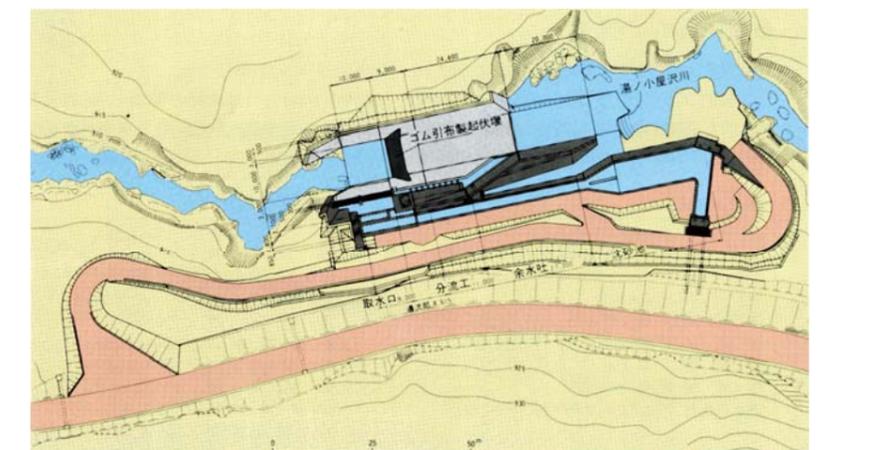
ダム標準断面図



貯水池容量配分図



導水取水堰平面図



ダム

- 河川名 ▶ 利根川水系櫛俣川
- 位置 ▶ 群馬県利根郡みなかみ町藤原字奈良俣
- 形式 ▶ 中央土質遮水壁型ロックフィルダム
- 堤高 ▶ 158m
- 堤頂標高 ▶ 896m
- 堤頂長 ▶ 520m
- 堤頂幅 ▶ 14.0m
- 堤体積 ▶ 13,100,000m³
- 導水路延長 ▶ 3.1km²(馬蹄形型、内径2.65m)

貯水池

- 名称 ▶ ならまた湖
- 集水面積 ▶ 95.4km²
- 直接流域(櫛俣川) ▶ 60.1km²
- 間接流域(湯ノ小屋沢川) ▶ 35.3km²
- 湛水面積 ▶ 2.0km²
- 常時満水位 ▶ 標高888.00m
- 洪水期制限水位 ▶ 標高881.00m
- 最低水位 ▶ 標高800.00m
- 総貯水容量 ▶ 90,000,000m³
- 有効貯水容量 ▶ 85,000,000m³
- 堆砂容量 ▶ 5,000,000m³